

平成 28 年度 ジャパンリンクセンター運営委員会（第 2 回）議事要旨

開催要旨

日 時 : 平成 28 年 9 月 7 日 (水) 13:00~15:00

場 所 : 国立研究開発法人科学技術振興機構 東京本部 8階会議室1

出席者 : (敬称略)

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所 武田英明 (委員長)

国立研究開発法人 物質材料研究機構 谷藤幹子 (委員)

国立国会図書館 伊東敦子 (委員)

国立研究開発法人 科学技術振興機構 小賀坂康志 (委員)

国立研究開発法人 科学技術振興機構 中島律子、加藤斉史、余頃祐介
(事務局)

- 議事概要 :
1. 作業部会における検討の状況について
 2. 「研究データ利活用協議会」の活動計画について
 3. システム技術分科会における検討状況について
 4. JaLCメタデータ検索IF公開までの暫定対応(案)について
 5. 平成28年度の分科会委員構成について
 6. ジャパンリンクセンターの近況について
 7. その他

議事概要

1. 作業部会における検討の状況について

- ・ 資料 1 に基づき、事務局より報告を行った。

2. 「研究データ利活用協議会」の活動計画について

- ・ 11/4 (金) にサイエンスアゴラ内で開催する公開シンポジウムについて、サイエンスアゴラの来場者を意識したプログラム構成を検討している。
- ・ 一般的なサイエンスアゴラの来場者でも、馴染みやすい分野および講演者(ノーベル賞受賞者)であるとプログラムが目を引きものとなり集客力がある。
- ・ DIAS で途上国へ行ってデータを集めているといった話はあるかもしれない。ダムのデータを集めて何かを予測するという話を喜連川先生がしばしばしている。
- ・ DIAS にリアルなデータを扱っていて、身近な話をできる人がいるかどうか、北本先生に聞いてみる。
- ・ 研究会(第2回)の企画、運営者を募集している旨は、ML で流すこととする。
- ・ 英語名称を Research Data Utilization Forum、略称を RDUF とする。

3. システム技術分科会における検討状況について

- ・ 今後、IDF 全体に対する提案の方法について確認する。

4. JaLC メタデータ検索 IF 公開までの暫定対応（案）について

- ・ 政府標準利用規約について、現在は「第 2.0 版」が最新である。利用態様を制限しないように、「第 1.0 版」でいう「3) 禁止している利用について」がなくなった。日本国政府関連のコンテンツはこれに従う（従わない場合には別途理由を述べなければならない）ことになっているので、JaLC もメタデータを公開するのであれば、これに倣わざるを得ない。
- ・ 検索会員との差別化は、半年に一回程度更新という時差があるということと、提供される項目が限定的ということである。
- ・ 書誌データのみなので、公開されると困るという会員はいないと思う。むしろ、公開されるのであれば書誌データをキレイにしたいから少し待つて欲しいという会員が出てくるかもしれない。
- ・ 論文とは異なり、研究データの DOI や書誌データの公開には注意を要する。すなわち、義務として DOI を登録されている場合、論文のタイトルに相当する研究データの名称等が公に明かされることは必ずしも望まれていることとは限らない。
- ・ これらは会員への個別連絡のみでなく、「政府標準利用規約に則った方式で、DOI を含む書誌データの全部または一部を一般に公開する」ということを、web ページにおいても告知すべきである。
- ・ 今後の手続きとしては、参加規約の改正、利用規約の制定、web ページでの告知、会員への連絡、一ヶ月後に実施という流れとなる。方針変更について、委員会での決定としてお知らせをする。方針変更の連絡と同時に書誌データ等を公開してしまうと、会員からすると自分たちが蔑ろにされたという心証を持つかもしれない。
- ・ 更新頻度は、当面は半年に一回程度を目安とする。

5. 平成 28 年度の分科会委員構成について

- ・ サービス企画分科会については、JaLC の今後のサービス展開を検討するため、学会関係の方に入ってもらおうとよい。また、大学のチャンネルという観点から URA に入ってもらおうとよい。
- ・ システム技術分科会については、JaLC を活用するローカルシステムを作るような民間企業に入ってもらいたい。
- ・ コミュニケーション分科会については、学会とのチャンネルを持っている方に入ってもらいたい。

6. ジャパンリンクセンターの近況について

- ・ 事務局から、資料 6 に基づき説明した。

— 以 上 —